

一般会計の自主財源と依存財源

区 分		決算額(万円)	歳入に占める割合(%)	対前年度増減率(%)
自主財源	町税	20億7,876	14.0	10.8
	うち町民税	11億373	7.4	21.4
	うち固定資産税	7億5,648	5.1	1.1
	うち町たばこ税	1億7,975	1.2	△3.2
	分担金および負担金	8,797	0.6	6.0
	使用料および手数料	2億5,954	1.8	3.9
	寄付金	11億4,856	7.7	237.0
	その他の自主財源	17億3,380	11.7	95.0
	自主財源計	53億863	35.8	54.3
依存財源	地方交付税	58億1,963	39.3	△3.4
	国庫支出金	12億1,328	8.2	14.9
	道支出金	6億68	4.1	△39.4
	町債	13億540	8.8	△16.0
	その他の依存財源	5億7,298	3.8	△9.5
	依存財源計	95億1,197	64.2	△7.3
歳入合計		148億2,060	100.0	8.2

※歳入全体の自主財源の占める割合は、35.8%と低く、依存財源である地方交付税が39.3%を占めています。地方交付税に依存した財政構造となっています。

一般会計性質別歳出の状況

区 分		決算額(万円)	歳出に占める割合(%)	対前年度増減率(%)
消費的経費	人件費	19億8,111	14.0	△1.5
	その他の消費的経費	56億1,954	39.8	4.9
	消費的経費計	76億65	53.8	3.2
投資的経費		21億8,264	15.5	△11.7
その他	公債費	12億8,735	9.1	△6.8
	その他	30億5,493	21.6	42.0
	その他計	43億4,228	30.7	22.9
歳出合計		141億2,557	100.0	5.6

※その他の消費的経費は、建物の維持管理費や補助金、給付金などです。
 ※投資的経費は、道路の改良、建物の改修や災害復旧などの公共事業です。 ※公債費は、町債(借金)返済の経費です。

財政状況はどうなっているの?



平成28年度の健全化判断比率が公表されました

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
八雲町の比率	—	—	9.2%	29.5%
早期健全化基準	13.78%	18.78%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

公営企業の資金不足比率

	病院会計	水道会計	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20.0%

- ◎実質赤字比率～一般会計の財政状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の一般会計は黒字となっています。
 - ◎連結実質赤字比率～全会計の財政状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の全会計の合計は黒字となっています。
 - ◎実質公債費比率～借金の償還額から、資金繰りの程度を表す数値です。
 - ◎将来負担比率～一般会計が将来支払いが必要となる借金などから、財政を圧迫する可能性の度合いを表す数値です。
 - ◎資金不足比率～経営状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の病院会計および水道会計は資金不足が発生していません。
- ※八雲町は、全ての比率で国が示す「健全化基準」を下回っていますので、財政状況には問題はありません。しかし、将来の投資状況によってはこれらの数値が上昇しますので、今後とも健全化に向けた努力が必要です。